

第13回大阪大学近藤賞募集要項

1. 趣旨

本賞は、1993年4月に交通事故により、志半ばにして不慮の死を遂げた近藤洋君のご両親の寄付によって創設されたものです。ご子息洋君が志したレーザー核融合をはじめとし、広くレーザー科学の研究に貢献できればとのご意志に沿って本分野の優れた技術的貢献と若手研究者の業績を表彰することにより、研究者の意欲の向上と当分野の発展を促すことを目的として、2007年度より大阪大学の賞として授与しています。2018年度より国際賞になりました。

2. 対象分野

レーザー工学、光量子ビーム科学、高エネルギー密度科学、レーザー核融合科学および関連するレーザー科学分野

3. 応募資格

国内外の学術誌等に公表された論文、著書、その他の研究業績により学術上特に優れた成果を上げたと認められる者のうち、以下の条件を満たす者です。特に国籍は問いませんが、我が国のレーザー科学の発展に貢献したことが認められるものが対象となります。

(1) 技術貢献賞

顕著な技術を完成させレーザー科学の発展に貢献した1名もしくは複数の技術者
(年齢は特に問いませんが、現職であることが望ましい。)

(2) 論文賞

受賞年度(2019年3月31日現在)において満40歳未満であること
(ただし、出産、育児休暇により研究を中断するなどの事情があった場合は、年齢制限を42歳未満まで緩和できるものとします。)

4. 審査方針

(1) 技術貢献賞

我が国におけるレーザー科学の研究環境向上などを含め、レーザー科学の基盤技術を支えてきた技術者に対し、その貢献をたたえ、一層の技術進歩を当該分野が期待している証として与えるものとし、選考委員会において以下の項目などを参照の上、審査を行います。

- 1) 技術成果の他分野への波及効果
- 2) 技術向上の当該分野へのインパクト
- 3) 当該技術向上への本人の寄与(複数名が関与する場合)
- 4) 技術成果等についての公の紹介記事など
- 5) 技術報告書、成果をまとめた記録等
- 6) 推薦文

(2) 論文賞

我が国におけるレーザー科学の研究に顕著な貢献のあった国内外の若手研究者に授与します。選考委員会において以下の項目などを参照の上、審査を行います。

- 1) 学術論文、学会講演、国際会議講演などの発表状況
- 2) 研究の独創性、将来性、分野へのインパクト
- 3) 当該研究における本人の寄与(注:共著者がいる場合、グループ研究・プロジェクト研究である場合は個人の寄与を測るよう留意)
- 4) 他分野への波及効果や情報発信
- 5) 分野への貢献(注:学会活動や分野交流の状況なども留意)
- 6) 推薦文

5. 応募方法

応募は原則として他薦とし、推薦者1名により候補者を推薦します。(技術貢献賞は、顕著な技術を完成させレーザー科学に貢献した複数の技術者を対象とした応募も可。ただし1件の応募につき最大5名までとします。)

6. 提出書類

(1) 技術貢献賞：

技術者個人を対象とする応募の場合

- *応募申込書
- *これまでの研究履歴がわかる履歴書
- *推薦書（1通、注1）
- *当該分野における本人のこれまでの貢献と今後の抱負を文章としたもの（A4 1～2枚程度）
- *対象となる技術報告書、論文、記事（注2）などがあれば1編、複数ある場合はそのリスト（候補者の寄与が具体的にわかるような説明文を付加すること。）

複数の技術者を対象として応募する場合

- *応募申込書
- *応募対象となるすべての人の研究履歴がわかる履歴書
- *応募対象の技術者全体に対する推薦書（1通、注1）
（それぞれの貢献度を、全体を100として記載すること）
- *当該分野へおける各人のこれまでの貢献と今後の抱負を文章としたもの（各人A4 1～2枚程度）
- *対象となる技術報告書、論文、記事（注2）などがあれば1編、複数ある場合はそのリスト（候補者らの寄与が具体的にわかるような説明文を付加すること）

(2) 論文賞の場合：

- *応募申込書
- *履歴書
- *推薦書（1通、注1）
- *発表論文リスト（なお、業績リストの論文には、学術誌のインパクトファクター、および引用数を記載ください。検索データベースはWeb of Scienceを推奨しますが、それ以外のデータベースを利用した場合には明記ください。）
- *学会講演、国際会議講演リスト
- *対象論文（1編）

以上を書類の正本とし、他に、推薦書を除いた書類のコピー5部を添えて下記まで郵送すること。

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2-6

大阪大学レーザー科学研究所 経営企画室 宛

※「大阪大学近藤賞応募書類在中」と朱書きの上、送付のこと

(注1) 推薦書は、「10. 推薦書の様式」を参照

(注2) 明らかに応募者（等）が開発した装置システムでの成果をアピールできる場合は、応募対象者本人が著者である必要はありません。その際は、具体的な成果に直結した技術についての説明を付けることとします。

7. 提出〆切

平成 31年 4月 1日（月）必着

8. 問い合わせ先

大阪大学レーザー科学研究所：

中井光男 教授 Tel: 06-6879-8773 E-mail: mitsuo@ile.osaka-u.ac.jp

9. 審査の方法

大阪大学レーザー科学研究所共同研究運営委員会の下に選考委員会を設置して審査を行います。

10. 推薦書の様式

様式はword、A4で、以下の要領を含み作成すること。推薦者が封をして提出すること。

(a) 技術貢献賞に応募の場合

- ・文書作成年月日

- ・推薦者の氏名
- ・候補者氏名、所属：（1行に1人）
- ・推薦理由（1000字以内の和文または英文。上記「4. 審査方針」を留意の上、記載すること。特に候補者それぞれの達成技術への寄与、達成されたものが明確に委員会に伝わるようにすること。また、複数の技術者を対象とする場合は、推薦者から見た、各人の達成結果に対する貢献度を全体を100として数字で表すこと。）

(b) 論文賞での応募の場合

- ・文書作成年月日
- ・推薦者の氏名
- ・候補者氏名、所属：
- ・推薦理由（1000字以内の和文または英文。上記「4. 審査方針」を留意の上、記載すること。特にグループでの研究成果を上げる場合には、候補者本人の寄与が明確に委員会に伝わるようにしてください。）

11. 過去の受賞履歴

第12回（2018年度）受賞者

<技術貢献賞>

該当者無し

<論文賞>

氏 名：木村 友亮 氏

受賞題目：「両側CO₂レーザー加熱システムを用いたMgOの高圧融点決定」

所属（受賞時）：愛媛大学地球深部ダイナミクス研究センター

<論文賞>

氏 名：Mathieu Bailly-Grandvaux 氏

受賞題目：「Guiding of relativistic electron beams in dense matter by laser-driven magnetostatic fields」

所属（受賞時）：Center for Energy Research, University of California, San Diego, USA

第11回（2017年度）受賞者

<技術貢献賞>

該当者無し

<論文賞>

該当者無し

第10回（2016年度）受賞者

<技術貢献賞>

該当者無し

<論文賞>

氏 名：犬伏 雄一 氏

受賞題目：「X線自由電子レーザー分光技術開発と高エネルギー密度状態物質の原子過程研究への応用」

所属（受賞時）：公益財団法人 高輝度光科学研究センター XFEL 利用研究推進室

第9回（2015年度）受賞者

<技術貢献賞>

氏 名：安原 亮 氏（他2名）

受賞題目：「TGG セラミックスによる大パルス・高繰り返しレーザー用ファラデー素子の開発」
所属（受賞時）：自然科学研究機構 核融合科学研究所
＜論文賞＞

氏名：瀬戸 慧大 氏

受賞題目：「高強度レーザー場における非線形QED真空補正を考慮した放射の反作用の理論研究」

所属（受賞時）：Horia Hulubei National Institute for R&D in Physics and Nuclear Engineering
(IFIN-HH)

第8回（2014年度）受賞者

＜技術貢献賞＞

氏名：藤岡 加奈 氏

受賞題目：「高強度・高出力レーザーのための高機能光材料の開発」

所属（受賞時）：レーザー技術推進センター

＜論文賞＞

氏名：石井 順久 氏

受賞題目：「光パラメトリックチャープパルス増幅法を用いたコヒーレント軟X線光源に関する研究」

所属（受賞時）：東京大学物性研究所 極限コヒーレント光科学研究センター

＜論文賞＞

氏名：大野 宗祐 氏

受賞題目：「隕石衝突生成ガスの化学組成と白亜紀末生物大量絶滅」

所属（受賞時）：千葉工業大学 惑星探査研究センター

第7回（2013年度）受賞者

＜技術貢献賞＞

氏名：冨澤 宏光 氏（他4名）

受賞題目：「EOサンプリングロック方式・HHGシート型フルコヒーレントEUV自由電子レーザーの実現と高度利用に関する総合技術の確立」

所属（受賞時）：独立行政法人 理化学研究所（播磨）放射光科学総合研究センター

＜論文賞＞

該当者無し

第6回（2012年度）受賞者

＜技術貢献賞＞

氏名：八井 崇 氏

受賞題目：「近接場光エッチングの産業応用研究」

所属（受賞時）：東京大学大学院工学系研究科

＜論文賞＞

氏名：廣理 英基 氏

受賞題目：「超高強度テラヘルツ光源の開発と非線形光学現象への応用」

所属（受賞時）：京都大学 物質-細胞統合システム拠点

第5回（2011年度）受賞者

＜論文賞＞

氏名：時田 茂樹 氏

受賞題目：「レーザー加速電子バンチの圧縮法の実現とその電子回折応用に関する研究」
所属（受賞時）：京都大学化学研究所

<論文賞>

氏名：LIU Jun 氏

受賞題目：「四光波混合を利用した超短パルスレーザーのコントラスト改善に関する研究」
所属（受賞時）：電気通信大学先端超高速レーザー研究センター

第4回（2010年度）受賞者

<技術貢献賞>

氏名：川崎 鉄次 氏

受賞題目：「ダイヤモンド型パルス圧縮器における大型光学素子の独自の調整方法」
所属（受賞時）：大阪大学レーザー科学研究センター

<論文賞>

氏名：高橋 栄治 氏

受賞題目：「中赤外超短パルスレーザー光を用いた高次高調波の高出力化に関する研究」
所属（受賞時）：独立行政法人理化学研究所

第3回（2009年度）受賞者

<技術賞>

氏名：宮永 勢次 氏

受賞題目：「レーザー科学のためのスーパーコンピューターシステムの運用管理技術」
所属（受賞時）：大阪大学総務部総務課PMO準備室

<科学賞>

氏名：藤岡 慎介 氏

受賞題目：「レーザープラズマ放射流体物理ならびにその応用の研究」
所属（受賞時）：大阪大学レーザー科学研究センター

第2回（2008年度）受賞者

<技術賞>

氏名：吉村 政志 氏

受賞題目：「非線形光学結晶の実用化への貢献」
所属（受賞時）：大阪大学大学院 工学研究科

<科学賞>

氏名：藤 貴夫 氏

受賞題目：「中赤外領域における数サイクル光発生の研究」
所属（受賞時）：独立行政法人理化学研究所

第1回（2007年度）受賞者 ※兩名とも科学賞受賞

氏名：尾崎 典雅 氏

受賞題目：「レーザー衝撃波による高圧状態方程式の研究」
所属（受賞時）：大阪大学大学院工学研究科

氏名：東口 武史 氏

受賞題目：「極端紫外光源へのレーザー生成プラズマ応用研究」
所属（受賞時）：宇都宮大学大学院工学研究科

西暦 年 月 日

大阪大学近藤賞応募申込書

大阪大学近藤賞選考委員会御中

以下の方を第13回（2019年度）大阪大学近藤賞の候補として推薦いたします。

候補者 氏名	
候補者 所属	
推薦者 氏名・所属・連絡先	
応募カテゴリ (どちらかに○)	技術貢献賞 ・ 論文賞
近藤賞へ応募する タイトル(○○の研究、△△の技術など)	
第三者として意見を 伺える人(注)	

(注) 第三者として当該分野で意見を伺える方1名について、氏名、所属(勤務先、身分および所在地)、連絡先(電話、FAX、電子メールなど)を明記